

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-3-2 県立病院における良質な医療提供
---------	----------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	地域がん診療連携拠点病院としての医療の実施（中央病院）		
目的	(1) 対象	がん治療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	専門的ながん医療の提供、緩和ケアの実施や地域の医療機関との診療連携などにより、適切ながん治療を提供する。		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	院内がん登録件数	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0	1,000.0	件
	式・定義	調査年度の前々年末の登録件数	取組目標値					
			実績値	1,250.0				
			達成率	—	—	—	—	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	—	—	—	—	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)	0	0

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

地域がん連携拠点病院として、手術療法、放射線療法及び化学療法を提供するとともに、院内サロンを設け、がん患者に対する相談支援などにも取り組んでいる。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

地域がん診療連携拠点病院として、放射線治療や化学療法等の専門的ながん治療を提供している。  
また、がんのリハビリテーション研修会を実施し、治療前あるいは治療後早期からリハを行うことで機能低下を最小限に抑え早期回復を図る取り組みに努めた。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」  
地域がん診療連携拠点病院としての機能を更に充実する必要がある。
- ②困っている状況が発生している「原因」  
医療従事者の確保が困難な状況が続いている。
- ③原因を解消するための「課題」  
医師をはじめとする医療従事者の安定的な確保が必要。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

関係大学や（一社）しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。

## 9. 追加評価（任意記載）

・課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。  
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。